

転倒・転落対策情報・離床センサー活用事例を無料配信！ メールマガジン『テクノス通信』

テクノス通信とは？

- 2009年5月配信開始の無料メールマガジン
- 転倒・転落対策に特化した情報を月1回配信
- 盛り沢山の内容で1500名様以上に好評配信中♪

こんなコーナーがあります！

『Special Topics』

総合的な転倒・転落対策情報の特集



今月のテーマ 「転倒・転落事故への対応策～人的対策編～」

今月号では、これまでリスクマネージャーインタビューなどでいただいた情報から、転倒・転落事故を防止するための人的対応策をご紹介します。ぜひ参考にしてください！

転倒・転落事故への段階別対応策



入院時のアセスメント後、アセスメントの結果によって対象者が行動を起こす前に、環境整備と共に様々な人的対策が実施されています。具体的にどのような対策がされているか見て行きましょう！

ナースコール指導の徹底

転倒・転落事故は、対象者が単独で行動した時に発生する事が多いと言われています。行動したい時にナースコールを使用するよう、指導を徹底する事で事故防止効果があります。



対象者の見守り強化

アセスメントにより転倒・転落リスクが高いと判断された対象者には、スタッフによる見守り強化策が採られる事も多くあります。ただし、夜間などスタッフの人数が限られる時は対応が困難です。



『突撃！リスクマネージャー』

独自のお取り組みや様々な疑問を突撃インタビュー！

突撃！リスクマネージャー！！

医療の安全に取り組む全国のリスクマネージャー様にインタビュー！

No.36 国立精神・神経医療研究センター病院 医療安全管理室 係長 伊藤淳子 様

■病院概要

1986年 国立武蔵療養所、同神経センター、国立精神衛生研究所を統合し、国立精神・神経センターとして発足。
1987年 国立国府台病院を統合。
2008年 国府台病院を国立国際医療センターに組織変更、武蔵病院は療養所から病院となる。
2010年 独立行政法人に移行し、国立精神・神経医療研究センター病院に改称。神経研究所、認知行動療法センターなど多くの併設研究機関を有する。精神病床673床、一般病床250床の計923床。
日本医療機能評価機構認定病院。(ver6.0)



【病院外観】

■理念

研究所と一体となって診療と研究に取り組み、精神・神経・脳疾患と発達障害の克服を目指します。

■基本方針

1. 研究成果を医療に生かします。
2. 高度な医療を優しく提供します。
3. 人材を育て、情報を全国に発信します。



【伊藤様の近影】

① 組織体制について

- 医療安全管理室のメンバーおよび主な役割をお聞かせ下さい。
医療安全管理室の室長として副院長の下に、医療安全管理者(伊藤様)と感染症管理認定看護師の2名が専任スタッフとして所属しています。医療安全管理者の役割は、院内の安全管理全般に関わる事、患者様の迷惑行為への対応などがあります。
- 医療安全推進担当者の役割および医療安全管理者との連携方法をお聞かせ下さい。
医療安全推進担当者は各部署より1名ずつ選出され、合計39名でリスクマネジメント部会を構成しています。

配信のお申込みはこちら

▶ WEB: <https://www.technosjapan.jp/cgi-bin/mailform/>

▶ FAX: 079-288-0969 (下記にご記入後、FAXして下さい)



病院・施設名		所在地 (都道府県)	
部署・役職		担当者名	
E-mail アドレス			

ご提供いただいた個人情報は、製品情報の提供等お客様サービス向上の目的のみに利用し、これを第三者に提供することはありません。また、第三者が閲覧できないよう、厳重に保管いたします。